

# 令和5年度 第1回 事例検討会アンケート結果まとめ

日時 令和5年4月24日 13:30~15:30

場所 青葉区医師会館

参加者 20名 アンケート回答数19 回収率 95%

## 1. あなたの職種に○をつけてください。

ケアマネ 11名 ・ 看護師 5名 ・ リハ職 1名 ・ 社会福祉士 1名 ・ 介護福祉士 1名

## 2. 在宅での経験

0~5年 4名、6~10年 6名、11~15年 6名、16年以上 3名

## 3. 本日の事例はいかがでしたか？ご意見をお聞かせください。( )内同様ご意見数

- ・ ご主人との関りや病状から、困難な事例だと思った。在宅では難しい事例だと思った。(8件)
- ・ 多職種の意見や視点が聞けてとても参考となった。チームで話し合うことの大切さを知れた。(5件)
- ・ 倫理的な問題を放っておけない事例。ACPにつながる事例。(3件)
- ・ ご本人の意向が分かりにくく、コミュニケーションや気持ちを汲み取る大切さが分かった。このような状況でも、環境評価等、客観的に判断する材料があるということが大変勉強になった。(3件)
- ・ 良かった。興味深かった。分かりやすかった。(3件)
- ・ 今後のケア方針等考えさせられるケースで大変ためになった。(1件)
- ・ 夫の支援の為にも、夫との関係性を作っておくことにつなげられたらと思った。(1件)

## 4. 今回の事例検討会に参加してみていかがでしたか？

・非常に有意義だった 14 ・有意義だった 4 ・あまり良くなかった 1

## 5. 研修内容は、今後の実務に役立ちそうですか。その理由も書いてください。

・非常にそう思う 13 ・ややそう思う 5 ・そう思わない 1

### 理由

- ・ 客観的な視点で見られ、多職種の専門的な意見がとても勉強になった。(3件)
- ・ 4分割法が分かりやすかった。4分割法を知った。倫理的な視点から、問題を検討するということが新鮮だった。(3件)
- ・ 環境評価、ケアの整合性など具体的な対策が出て、対応できるのでとてもいいと思った。(2件)
- ・ 本人の意思が分からず、ご家族の思いだけのサービス、家族で問題を抱えているケース。(2件)
- ・ 自分の関りを見直したい。(1件)
- ・ ツールと課題がかみ合っておらず、かえって混乱した。(1件)
- ・ 他事業所の方とお知り合いになれ、情報共有できそう。(1件)
- ・ 在宅でどのような問題が上がっているか知ることができて良かった。(1件)
- ・ サービス利用者側で、力を合わせて良い支援を考えてくれている(寄り添ってくれている)ことを介護家族に伝えてもらいたい。安心してもらえ。(1件)

## 6. 本日の事例検討の方法はいかがでしたか？ご意見をお聞かせください。

- ・ 多職種で話し様々な意見を聞いた。話しやすく、グループワークでたくさん意見が出た。(5件)
- ・ 難しいケースだった。(3件)
- ・ ちょうどいい人数だった。時間配分等、良かった。(3件)
- ・ 4分割表による整理、本人にとっての最善を考えること、具体的な介入方法案など、分かりやすい流れだった。(2件)
- ・ 時間が足りない。もう少し余裕がある良い。準備時間が欲しい。(2件)
- ・ やりづらかった。(1件)
- ・ 実際に在宅で生活するのは、ご主人がいなければ無理だと思った。(1件)
- ・ 今回のやり方を続けていくと、より有意義な時間になる。(1件)

## 7. 事例検討会全体を通じて、ご意見やご感想など、お聞かせください。

- ・ 多職種で検討できるのはとてもいいと実感した。多職種や他職場の意見が聞けて良かった。チームでの支援の必要性を再認識した(4件)
- ・ 立場や考えが違えば、倫理感も異なることが分かった。本人の気持ちを置き去りにしないためにどんな視点でどう関わるか、大切な学びが深まった。倫理面と生命維持の矛盾点を解消する難しさを痛感した。(3件)
- ・ 主治医の存在を大切にしていきたい。(1件)
- ・ もっと話し合い、発表の時間が欲しい。(1件)

## 8. 今後希望する研修があれば、お聞かせください。

- ・ 高次脳機能障害への具体的なアプローチを知りたい。
- ・ ケアマネに必要な医療知識。
- ・ 人格障害について。
- ・ ナラティブやENT直前後からの引継ぎ方法など。
- ・ 事例検討会を定期的に行いたいです。
- ・ 困難事例の対応等。